

脱原発に思いを寄せて

2012 年 4 月～2022 年 2 月

目 次

見 出 し (執筆年月)	頁
はじめに	
原発の「安全神話」を忘れていないか？ (2012 年 4 月)	1
日本科学者会議第 33 回原子力発電問題全国シンポジウムの報告 (2012 年 9 月)	1
大飯原発運転差し止め京都訴訟の原告団結成総会 (2013 年 6 月)	3
大飯原発運転差し止め京都訴訟の第 1 回口頭弁論に出廷して (2013 年 7 月)	3
大飯原発運転差し止め京都訴訟第 2 回口頭弁論と第二次訴訟の提訴並びに 避難者の損害賠償請求訴訟の支援 (2013 年 12 月)	5
大飯原発運転差し止め京都訴訟第 3 回口頭弁論法廷の報告 (2014 年 3 月)	7
関西電力大飯原発運転差し止め福井訴訟における福井地裁の判決をめぐって (2014 年 7 月)	8
原子力発電は日本を亡ぼす「亡国の技術」である (2014 年 8 月)	9
大飯原発運転差し止め京都訴訟第 5 回口頭弁論の傍聴記 (2014 年 10 月)	10
大津地裁の「原発再稼働禁止仮処分申立事件」に対する決定について (2014 年 12 月)	11
大飯原発 (3、4 号機) の運転差し止めを命じた福井地裁判決 (2014/5/21) に対する 関西電力の控訴理由の検証を試みる (2015 年 1 月)	13
大飯原発運転差し止め京都訴訟第 6 回口頭弁論の傍聴記 (2015 年 2 月)	16
学習会「高レベル放射性廃棄物の地層処分は可能か？」の報告 (2015 年 4 月)	17
裁判官に対する批判のすすめ (2015 年 6 月)	17
京都新聞の「どう見る原発再稼働」の記事から (2015 年 9 月)	19
核変換による高レベル放射性廃棄物の放射毒性低減化技術の開発について	20
大飯原発運転差し止め京都訴訟において「関電が提出した鑑定意見書における誤謬」 について (2015 年 12 月)	22
裁判官の良心の在りようを問う 高浜原発 3、4 号機事件 (2016 年 1 月)	24
裁判官の良心の在りようを問う その 2 前記高浜原発 3、4 号機事件の続編 (2016 年 2 月)	25
原発耐震設計指針における「残余のリスクの存在」について (2016 年 3 月)	27
科学者は住民の安全のために発言しなければならない— 南相馬市の避難指示解除について (2016 年 6 月)	28
裁判官の良心と内心の自由 (2017 年 1 月)	29
児童に対する「福島いじめ」について思うこと (2017 年 3 月)	30

原 道子裁判官（前橋地裁）の判断は国民的に賞賛されるべきである (2017 年 4 月)	30
山下郁夫裁判官（大阪高裁）と吉岡茂之裁判官（広島地裁）の判断について (2017 年 4 月)	31
民意到達度から見た日本の司法制度 (2017 年 6 月)	33
常識を欠く原子力規制委員会と裁判官 (2018 年 2 月)	34
原発「ふげん」の廃止措置と使用済み核燃料 (2018 年 3 月)	35
国民守るのが裁判所の使命 (2018 年 9 月)	36
関電、九電、四国電の 3 電力会社、新規制基準の適用猶予期限延長を求める (2019 年 5 月)	38
福島第 2 原発の廃炉と使用済み核燃料貯蔵施設の設置 —日本の原発をすべて廃止するには— (2019 年 8 月)	39
「老朽原発動かすな！キャンペーン協賛学習会」に参加して (2019 年 10 月)	41
運転を再び差止められた伊方原発 3 号機 (2020 年 2 月)	41
原子力発電（原発）からの撤退と使用済み核燃料の処理について (2020 年 3 月)	43
脱原発への道と日米原子力協定（条約）(2020 年 7 月)	45
北海道寿都町で起きた「核のゴミ」問題の教えること (2020 年 9 月)	48
原発再稼働を認めた自治体は周辺自治体住民の原発事故被害に責任が負えるのか？ (2020 年 12 月、2 編)	
そのⅠ）老朽原発の稼働	49
そのⅡ）大飯原発 3、4 号機の運転を許可したのは違法である	50
3.11 からの 10 年、これからの 100 年 (2021 年 5 月)	50
そのⅠ） 3.11 から 10 年の現状	50
そのⅡ） 将来世代に「負の遺産を作る」これからの 100 年	52
日本の原子力発電事業を規制する国際条約と日米原子力協定 (2021 年 10 月)	55
1. 原子力国際機関の設置	55
2. 核兵器不拡散条約と新しい日米原子力協定の締結	55
3. 我が国から撤去すべきものの例示	56
4. 「撤退シナリオ」の策定	57
5. 高レベル放射性廃棄物の国内保管	58
プルトニウム（Pu）・使用済み核燃料の処分に国際動向 — 日本の脱原発の道はどこに — (2022 年 2 月)	59
編集後の所感	62